

別添資料1

登録番号

1

漁船名

〇〇丸

漁業者（又は船）ごとに番号を登録

年月日	1. 出漁 2. 途中帰港 3. 中止	漁場番号	漁場名	漁獲量kg	漁獲尾数	投縄回数	竿数	食害を受けた縄数	サメ 食害尾数	イルカ 食害尾数	バラムツ 食害尾数	その他 食害尾数	合計 食害尾数	(参考) 表層水温	備考
2024.2.1	1	1	根山	5	10	3	2	5	0	30	0	0	30	20°C	
2024.2.1	2	2	湯尻	20	40	2	2	0	0	0	0	0	0	21°C	
2024.2.2	1	11	トーフ山	50	60	4	2	2	1	0	1	0	2	21°C	
2024.2.3	3												0		
...													0		
...													0		
													0		
													0		

漁場ごとに記載してもらうため、同じ日が出てくる場合がある

選択制にする  
1. 通常に出漁した場合  
2. 出漁したが、食害がひどくて途中で止めた場合  
3. 食害がひどいという情報があったので出漁しなかった場合

漁場番号を入力、又は漁場名を選択することで両方が埋まる仕組み  
⇒漁場選択の時にマップを出して、漁場部分にタッチするとその周辺の漁場名が出てくる。

漁獲量は必須で、尾数は分かれば記入。複数箇所釣りだった場合は、感覚で按分してもよい。

食害尾数0の時は、被害状況図に被害なしとして記載

- 漁業者が紙ベースで書いていたデータを書き写せるよう、表形式にする。
- その日ごとに入れる場合もある。2パターンの入力フォーマットにする？
- (船上ではなく陸に帰ってから) 手入力ではなく、音声入力も可能とする？
- 漁業者ごとの漁獲データをまとめられるようにする。(研究所及び入力した本人のみ閲覧可能)
- 赤枠は、キンメ被害状況図に反映されるデータ(被害尾数を点やマークで漁場付近にプロット)

漁業者が気づいたことを手入力